

福祉の未来を 考えてみよう

社会課題**キャリア教育**

少子高齢化の進行により、福祉人材の確保が課題となっており、2040年には、約57万人の介護職員が不足すると予測されています。

子供たちが将来を見据え、自分と社会との関わりを考える「キャリア教育」を通じ、次世代を担う子供たちに福祉の仕事の大切さや意義を理解してもらい、この課題に向き合うことが重要です。

本プロジェクトは、デジタル技術も活用しながら、キャリア教育を通じて、福祉分野への関心・理解を深め、将来的な人材確保につなげることを目的としています。

希望するプログラムを選択でき、オーダーメイドで組み立てることができる キャリア教育プログラム

授業時間内プログラム

対象：小学校中学年～中学生

VR職場体験

デジタル技術を活用し、よりリアルに、そして楽しくキャリアについて考える、キャリア教育の入口となるプログラム。

福祉施設の様子を体感することができる没入体験を通して、福祉業界や職業について考えるきっかけを作ります。

VR

(VRでの体験内容)

福祉施設で働く大人たちがどんな仕事をしているのかよりリアルにバーチャル見学

例)

- ・利用者を支援しているシーン
- ・リハビリやレクリエーションをしているシーン
- ・次世代介護機器を活用しているシーン



GIGAプログラム（オンデマンド動画）

タブレットを活用し、職業をテーマにしたキャリア教育プログラム。子どもたちの今の学びや生活が将来の仕事とリンクし、社会に貢献することにつながっていることを実感できるプログラムです。

今回は福祉業界から介護・保育等の20代～30代のプロフェッショナル15職種をピックアップし、業界や職種について学びを深めるプログラムとなっており、ワークシートで動画の内容を振り返ることで、理解を深めます。



動画の内容

小学生

- ・仕事内容
- ・やりがい
- ・学びと仕事
- ・メッセージ

中学生

- ・仕事内容
- ・やりがい
- ・進路について
- ・メッセージ

ふれあいイベント（オンライン交流プログラム）

リアルタイムで大人とコミュニケーションをとるプログラム。オンライン会議ツールを通して、福祉業界の講師による講話を行いつつ、子供たちから講師への質問も可能。リアルな双方向コミュニケーションを通じて、子どもたちに「ワクワク感」を持ってもらうことを重要視したキャリア教育コンテンツです。大人たちがどんな想いを持って仕事をしているかを伝えていきます。



	開始5分前	社会人講師&学校教室 web会議室接続
	授業開始	社会人講師と学校が対面
開始	①	社会人講師の挨拶（講師1人1分程度×3名）
開始から5分	②	社会人講師のお話（講師1人5,6分程度×3名）
開始から20分	③	社会人講師へのインタビュー（終了5分前まで）
開始から40分	④	社会人講師からのメッセージ（講師1人1分程度×3名）
開始から45分	授業終了	授業を終了



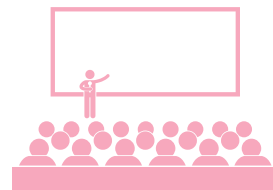
東京都



Blueberry

プレゼンコンテスト

福祉の仕事をテーマにしながら、汎用的なプレゼンテーション能力にアプローチするプログラム。
自分の考えを持つこと、人に伝える力を養うことなど、キャリアの形成に必要なスキルを身につけることができます。
GIGAプログラムの動画を視聴後、関心を持った職業に関するプレゼンテーションを作成・実施します。



希望者向けプログラム

小中学生・保護者等、各自で申し込み参加するプログラム

アイデアソン

～理想の福祉施設を考えよう～

実際の福祉の現場での課題に触れ、どんなことに取り組むべきか考え、発表するプログラム。
採択されたアイデアには実際の福祉現場での実現に向けた検討を行う。

対象：小学校高学年～中学生の希望者

実施形態：学校外の休日（1日）

- 福祉施設について知るとともに、理想の福祉施設について考え、プレゼンテーションを行うプログラム
- 20人程度の参加者で実施
- 福祉施設の見学会も実施



保護者向けキャリアセミナー

子どもたちがホスピタリティを養いながらキャリア形成を行うために必要な視点を学ぶ保護者向けセミナー。福祉業界の現状や将来性までを含めてプログラムを構成し、保護者に対して業界イメージの向上を図る。

対象：小学生・中学生の保護者の希望者

実施形態：オンラインで実施

テーマ：ホスピタリティが活きるキャリアの可能性

こども向けWeb サイト

子どもたちが楽しみながら、福祉業界について理解や関心を深め、キャリア観の醸成につながるコンテンツを収録したwebサイト。
ゲームや動画コンテンツを通して、福祉の仕事により身近に考えられるようなwebページを構築。



UPGRADE with TOKYOからスタートしたプロジェクト

2025年5月1日、株式会社Blueberry（東京本社：東京都港区赤坂、代表取締役：柴田 涼太郎）は、東京都との間で「次世代の福祉人材確保」を目的とした、行政課題解決型スタートアップ支援事業における連携事業の実施に関する協定を締結いたしました。本協定は、2025年1月に開催された「UPGRADE with TOKYO」第46回ピッチイベントでの優勝提案をもとに実現されたもので、子どもたちに福祉の仕事への理解と関心を育む新たなキャリア教育の取組です。少子高齢化が進むなかで、福祉人材の確保は社会的な課題となっています。今回の協定により、東京都とBlueberryは、福祉キャリア教育プログラムを展開してまいります。

UPGRADE
with
TOKYO



お申し込みについて

プログラムについての詳細等は、順次東京都及びBlueberry社のWEBサイトでご案内予定です。
詳しい内容を知りたい場合など、まずはお気軽にお問い合わせください。

授業時間内プログラム



複数のプログラムから目的に合わせて各校で組み合わせをアレンジして活用いただくことが可能です。
実施に費用はかかりません。
日程は各校のご予定に合わせて調整させていただきます。

希望者向けプログラム



興味のある小中学生・保護者等を対象としたプログラムです。
希望者は学校を通さず、直接Blueberry社へ申込を行います。
参加いただくために費用はかかりません。
日程や申込方法等は都及び株式会社BlueberryのWebサイト等で別途ご案内させていただきます。

お問い合わせ先

株式会社Blueberry (ブルーベリー)

学校教育事業部

担当 : 加藤

TEL : 050-8881-6366

MAIL : school@blue-berry.org

HP : <https://blue-berry.org>

本プログラム専用問い合わせフォーム

<https://forms.gle/89emP92HNNKXXAMp7>



Blueberryの考えるキャリア教育

現代は「人生100年時代」といわれるほか、変化が激しく先行きが不透明で将来予測が困難な「VUCA」の時代であるともいわれます。そんな社会の中で一人ひとりが自分らしく生きていくために、視野を広げ、価値観を養い、能力を身につけていくことが必要です。

そしてその根幹を担うのがキャリア教育であると私たちは考えています。
キャリア教育はこの国の大きなポテンシャルを秘めていると信じています。



東京都



Blueberry